

アニメ「ぐんまちゃん」の放送 差し替えについて

群馬県企画・制作のアニメ番組 ぐんまちゃんの12月12日（日）（第11回）の放送を弊社が、差し替えた理由とその経緯について、下記の通り、説明させていただきます。

記

1. 差し替えの経緯

- ・アニメ「ぐんまちゃん」は、群馬県が企画、制作した番組で群馬県の代理店業務を担ったのが、テレビ神奈川です。テレビ神奈川は、弊社および、とちぎテレビ、千葉テレビ放送、テレビ埼玉、東京メトロポリタンテレビジョン、京都放送、サンテレビジョン、独立局7局の放送枠を購入し、10月から放送を開始しました。
- ・10月24日の競輪を扱った回の放送後、群馬テレビで放送を見たという視聴者から「内容的に不適切ではないか」という意見が放送倫理・番組向上機構（以下「BPO」）に複数寄せられました。同じ内容を放送した別の局1局に対してもBPOへ意見が寄せられたそうですが、他6局には、BPOへ意見が寄せられなかったということです。BPO青少年委員会では、これらの意見が寄せられたことに対し「競輪の賭け方について詳細に説明される内容には問題がある」として議論が行われました。
- ・11月25日、BPOは、番組を放送するまでの経緯やその背景を確認するため群馬テレビに対し、12月14日までに報告書を提出するよう求めてきました。
- ・これを受け、弊社では、その後の放送内容を確認したところ、12月12日に放送を予定していた第11回に「ハニワボートレース」という競艇を扱った話が含まれていることが分かりました。群馬テレビでは、臨時の役員会議を開き、当該話の内容を詳細に確認し、差し替えるか そのまま放送するかの対応について話し合いました。その結果、第11回の放送の差し替えを決め、代理店であるテレビ神奈川にお伝えしたものです。

2. 差し替えの理由

- ・日本民間放送連盟の放送基準第91条の解説では「公序良俗に反するもの、著しく品位に欠けるもの、暴力礼賛のもの、あるいは、射幸心を極度に刺激するものなどがある…特に公営ギャンブルについては、投票券購入行為につながる表現は、避けなければならない（一部抜粋）」としています。
- ・「ハニワボートレース」の話は、公営ギャンブル場であるボートレース場をぐんまちゃんとぐんまちゃんのおじさんが訪れるという設定です。話の中で上記の放送基準に抵触していると判断したコメントは下記の通りです。

- 1) おじさん「このままだと帰りの電車賃も無くなってしまふからな…」
- 2) ガンさん(予想屋)「だろ?いくらかのお金をケチってかえって大損をしてるんだぜ…」
- 3) ガンさん(予想屋)「なけなしのお金を自分の予想で全てすっちまって帰りの電車賃しかない負け犬…」
- 4) ガンさん(予想屋)「オレのレース予想が全部当たるなら、  
その舟券を買ったオレはすごいお金持ちになっちまうだろ？」
- 5) おじさん「今日の事はふたりだけの秘密だぞ」  
ぐんまちゃん「わかったよ」

いずれも投票券(舟券)購入行為もしくはその購入の結果、大金を得たり、帰りの電車賃を失うほど過度に舟券につき込んでしまう姿が表現されており、児童、青少年の射幸心を過度に煽るものと判断しました。公営ギャンブル場を紹介することは全く問題ありませんが、今般、差し替えた話の内容は、競艇のモータースポーツ競技としての魅力等を紹介する内容ではなく、舟券の「当たり、はずれ」、「もうけた、損した」との観点からの表現に重点がおかれており、その点に問題があると考えました。

- ・また、当番組は放送時間帯、キャラクター設定等から見て、幼児または小学校低学年の子どもを主な視聴者としているものと考えられますが、上記の内容は「児童および青少年の人格形成に貢献し、良い習慣、責任感、正しい勇気などの精神を尊重させるように配慮する」と定める放送基準第3章「児童および青少年への配慮」第15条にも抵触していると判断しました。
- ・BPO青少年委員会では、10月24日の放送回に前述の意見が寄せられたことに対し議論が行われ、委員からは「幼児向け番組に射幸心を煽る内容はいかがなものか」「県による持ち込み企画のようだが、制作体制・考査はどうなっているのか」といった意見が出され、その上で、弊社が報告書の提出を求められた事も事態を重く受け止めた大きな要因です。

### 3.まとめ

- 1) 弊社といたしましては、批判的な判断能力の乏しい子どもを主な視聴者としている番組で、その内容が上記の放送基準に抵触していると判断し、12月12日(日)(第11回)の放送を差し替えました。
- 2) 県内で運営されている公営ギャンブルは、各市において開かれた存在として取り組まれており、その収益金は、各市の貴重な財源として広く、教育や社会福祉などの充実に活用されております。このような公営ギャンブルの存在意義を子どもたちの成長の段階に応じて、正しく理解できるように子どもたちに伝えていくことは、大切だと思っております。
- 3) 弊社は、今後も地域の皆様に向けた番組づくりに重点を置き、地域の役に立つ情報を送り続けていく所存です。